

*天文機器資料館筆記台の雑感帳から

アーカイブ室新聞第479号(2011年5月6日)に「ゴールデンウィークに天文機器資料館の雑感帳に書かれた声」という記事を書いた。第479号では4月26日から5月5日までのまさしくゴールデンウィークの間に書かれたものだけを取り上げた。しかし、それまでもかなりの量の書き込みがあった。雑感帳を置いた筆者としては、天文機器資料館を見に来た人がどんな感想、希望をお持ちか自由にお書き下さいとしてレポート用紙を置いてある。雑感を書いた人は誰かに読んでもらいたい、希望を書いた人はどのように対処されたか知りたい、心を吐露された方はどのように感じてもらえたか知りたいのではないかと考えていた。観光地のお寺、神社などにも似たような雑感帳があるが、ただ書きっ放しのように入る。やはり何かお応えすべきではないかと思う。そこで今手元にあるメモの中で昨年暮れからしばらくの間のもを紹介して見たい。天文機器資料館を主宰している筆者はアーカイブ室新聞というものを発行している。この新聞に書いておけば、何かの機会に雑感帳に書いたことへの対処などを読んでもらえるのではないかとかすかな希望を持っている。

*天文機器資料館のメモ帳から

順不同で、意味のあることを書いてある分を拾ってみます。

- 1) 2010/12/11: 昔の機器の緑の塗装、しんちゅう、鉄、鋳物製の金、銀、黒の組み合わせなど、形態の奇妙さ、機能性から生まれた不思議なカタチ・・・分厚くて、長くて、太くて重そうな保持具に「メカ萌え」します・・・そうか・・・古い灯台に通じる感覚だ。灯台のレンズもカール・ツァイス製が多いですもんね。 杉並区 H.N.
- 2) 2010/12/12: 天文学については詳しくありませんが、歴史と宇宙の謎についてとても興味深く楽しむことが出来た。自然豊かな立地と建築物の歴史漂う感じが趣深くとても良かった。 武蔵野市在住
- 3) 説明用モニター中の望遠鏡(カール・ツァイス製)のところで、実施等級とありましたが、実視等級ではないでしょうか? 茅野市 Y.M.
→そんな間違いがありましたか! すぐ修正するよう指示します。
- 4) 2010/12/15: 現代でも星の位置は実際に観測するのですね。私は座標の勉強をしているので面白く思いました。 さいたま市 M.M.
- 5) 2010/12/28: 自分の知識では理解できないでいたものが多すぎた。でも帰ってから、久しぶりにドブソニアンを出して星を見たくなりました。今月21日は皆既月食! 3回の内、2回は残念だったので今回こそは! と意気込んでおりますよ! 野辺山もオススメ

6) 2010/12/24: クリスマスに来場しました!! 楽しかった! 国立天文台よ、もっと人来い!! イヴの日に来場しました。“感動した” 国立天文台よ、永遠にあれ!!!

7) 2010/12/27: ヤマト、波動砲 発射! K

8) 2011/1/11: 1970 年中学生の時に見学に来て以来 40 年ぶりに来ました。当時、この辺には 6m のミリ波電波望遠鏡や 10m の赤道儀電波望遠鏡などがあったと思いますが、まさに時代の流れ・変化を感じます。また、ツァイスの自動光電子午環も近年活動を始めたものが、すでに引退しているのにも驚きました。この展示室内にも多数の遺産が見受けられますが、ぜひ大事に保存展示し、私たちにも手近に見られるようにしてください。40 年前に来た時も、大赤道儀室のフロア下や屋外に、古書の写真で見たことのある器材が埃を被り、あるいは赤錆びて放置されているのを発見し、残念に思ったものです。学者先生は研究に不要となれば、かまわず廃棄してしまうのでしょうか?

フランス製の H α 太陽写真儀も今はどこに行ったのでしょうか?

今、目の前の中にある白い大きな機材は、乗鞍の 25cm コロナグラフではないですか? コロナ観測所が閉鎖になったのは聞いていましたがあの新しいコロナグラフが分解されて此处にあるにもびっくりしました。

覗く機会がなかったのですが、静態保存されている 65cm での観望会も復活させてください。ぜひ覗きに来ますから。

これらは古くなったとはいえ、当時の最先端の技術遺産です。どうぞ「おいたわしい」と思わせるような姿にならないようよろしくお願いします。杉並区在住 S

→いろいろご指摘ありがとうございます。国立天文台にもやっと古いものを大切にしようというものが現れ、活動を開始しています。フランス製の H α 太陽単色写真儀もこの天文機器資料館に取り戻し保管、展示してあります。この天文機器資料館の中をご覧くださいガイドツアーも始めていますのでぜひ一度お出でいただければ幸いです。

9) 2011/1/16: うわあ! 何か大聖堂みたい。荘厳な感じがします。

10) 2011/1/16: 現在中学 2 年生の娘は不登校です。集団の中にいることが苦手な興味をもつものにもこだわりがあります。半年ほど前から天体にとっても興味を持ち、特に恒星、太陽、宇宙の成り立ちなど自分で調べたり、本を読んだりしています。地元の天文台にもよく行っています。大学の一般向きの講座などにも参加しています。どこまで理解しているかわかりませんが……(星の生死を考えると、涙が出てくると言います)。今、少しずつ勉強を始めています。大学へ行って天文学 or 宇宙のことを勉強したいという希望を持っています。

今日は母である私が所要のため一人で上京し、時間が空いたので、前から娘にきいていた国立天文台へ来てみました。ぜひ娘にも見せたいと思っています。宇宙を探る学問の歴史を感じる事が出来ました。 仙台在住の主婦

→娘さんが不登校を克服し、大学で天文学を勉強されることを願っています。今度はぜひ娘さんと一緒にお出でください。天文機器資料館に入れるガイドツアーもやっています。

す。国立天文台のホームページをご覧ください。

- 1 1) 2011/1/22 : たのしかった、かんげきしました。
- 1 2) 子午環の奥深さに感激！まさか赤経を作ってるだなんて、想像もしませんでした。
Shin (後半は意味不明ですが、このように想像されたのは展示している我々の責任でしょう)
- 1 3) 望遠鏡のたわみってなんですか？
→望遠鏡も構造物ですから重力によって変形します。重力による変形を「たわみ」と言っています。
- 1 4) 感動しました。また来ます。グラッチョ！
- 1 5) 2011/2/3 : 今日は学校が休みなので 1 人で来ました。施設が広くて 1 人じゃ少し心細かったけれど、ここの開けた空を見て、ここで夜空を寝転がって見れたら幸せだなと思いました。またまだ星に関して初心者ですが、ここの観測会にこれから参加して行き、知識を深めていきたいです。 アンシャーリー
- 1 6) 2011/2/4 : 自然がたくさんあり、安らぐところですね。 S
- 1 7) 2011/2/6 : おもしろかったです！！ アルプスの少女ハイジ
- 1 8) 2011/2/6 : 子午面視準器なんて初めてみました。 H

また機会があったら、別の期間のメモを掲載したいと思っています。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp